

2025年 春夏 公開授業一覧

分野	講座番号	講座名（授業科目）	講師氏名	受入可能 人数(人)	受講料 (円)
公開授業	7001	障害と社会	渡邊 克典	若干名	13,500

- ・申込用紙は、公開講座パンフレット折り込みの「公開講座受講申込書」、または「インターネット受付」をご利用ください。
- ・電話及びファックスでのお申込みは受け付けておりません。
- ・申込受付期限：令和7年3月21日（金）当日17時必着
- ・公開授業は、学部学生が受講している教養科目及び学部専門科目の授業の中から公開するものですが、学生の授業であるため、受講希望学生が定員を超過した場合は、受講できませんので、予めご了承ください。
学生の受講者数は、4月8日（火）17時以降に決まります。受講の可否は、それ以降に連絡しますので必ず申込書に記入した番号の電話に出るように準備をしておいてください。
- ・受講料の入金期間については、別途ご連絡します。銀行振込・現金書留いずれかの方法でご入金ください。
- ・受講手続後の受講料の払い戻しや講座の変更はできません。

講座番号	講座名（授業科目）	曜日 開講時間帯	講座開講日
7001	障害と社会	水曜日 16:20～17:50	① 4/16 ② 4/23 ③ 4/30 ④ 5/7 ⑤ 5/14 ⑥ 5/21 ⑦ 5/28 ⑧ 6/4 ⑨ 6/11 ⑩ 6/18 ⑪ 6/25 ⑫ 7/2 ⑬ 7/9 ⑭ 7/16 ⑮ 7/23 ⑯ 7/30

- 講義室は、授業開始の直前に正式に決定します。
講座初日までに講義室名を連絡しますので、各自確認の上、移動してください。
- 休講について
 - ①講師等の都合による、休講情報は、「徳島大学教養教育院」のホームページから随時案内しております。受講生となられた方は、各自の管理で休講情報を取得していただきます。人と地域共創センターからは、案内いたしません。

パソコン、インターネット等より

「徳島大学教養教育院」を検索 → メニューから「キャンパスライフ」 → 「休講情報」

- ②昼間に開講する授業については、徳島県徳島市に午前7時に「暴風警報」、「大雨警報」、「大雪警報」、「洪水警報」（以下「警報」という。）又は特別警報（波浪特別警報を除く。以下「特別警報」という。）が発表中の場合は、午前の公開授業を休講とします。
午前11時に警報又は特別警報が発表中の場合は、午後の公開授業を休講とします。
- ③授業開始後に警報が発表された場合は、次の時限以降の公開授業を休講とします。ただし、特別警報が発表された場合は、直ちに休講とします。
休講時の補講は、上記①の方法や、休講翌週の授業時に担当教員に確認してください。

単位取得はできませんので、試験は受ける必要はありません。科目によっては、各授業時に小テストが実施されるかもしれませんが、詳しくは担当教員にお尋ねください。試験日は、各授業の日程をご確認ください。

開講学期	前期	曜日・講時	水9～10	時間割番号	0010310
科目分野	教養科目群・生活と社会[Liberal Arts Courses・Living and Society]				
科目名	障害と社会[Disability and Society]				
ナンバリング	INTL1190JLAS01				
担当教員	渡邊 克典 [WATANABE Katsunori]				
単位数	2	対象学生・年次			
授業の目的					
新しい学問領域である「障害学」の基本的な考え方を学び、「障害」を医学やリハビリテーション学等に限定されない複合的な視点から理解することを目指します。					
授業の概要					
「障害学(Disability Studies)」とよばれる領域横断的な「学」について、その歴史的な背景と現代の課題を理解していきます。					
1. 基本的な考え方、歴史的展開、課題と論争について講義をおこないます。					
2. 障害学をめぐるトピックについて演習課題(プレゼンテーションやディスカッションをふくむ)を通じて理解を深めていきます。					
キーワード					
障害学、障害の社会モデル、障害者運動					
到達目標					
1. 障害学の基礎的な概念について、その意味内容を述べることができる。					
2. 障害学と関連する歴史的展開を説明することができる。					
3. 障害学の考え方や実践課題について、具体的な事例を用いて説明することができる。					
授業の計画					
01. イントロダクション					
02. 障害学入門(1):個人モデルと社会モデル【教科書 第I部】					
03. 障害学入門(2):バリアフリー、ユニバーサルデザイン【教科書 第I部】					
04. 歴史的展開(1):戦後日本の歴史と展開【教科書 第VI部】					
05. 歴史的展開(2):支援制度の歴史、障害者施設と親の会、脱施設【教科書 第VI部】					
06. 歴史的展開(3):雇用支援、自立生活運動、障害者権利条約【教科書 第VI部】					
07. 課題と論争(1):支援技術、文化【教科書 第VII部⑨⑩・第VIII部①⑨】					
08. 課題と論争(2):優生思想、ノーマライゼーション【教科書 第VIII部②③⑩】					
09. 課題と論争(3):「自立生活」を考える					
10. 小括(1):講義の振り返り、演習課題について					
11. 支援機器の開発と活用(1):障害者の暮らしと支援機器開発【教科書 第II部】					
12. 支援機器の開発と活用(2):障害文化としての技術活用【教科書 第III部】					
13. 生活と支援(1):障害者の実生活、福祉のまちづくり【教科書 第IV部】					
14. 生活と支援(2):支援者、合理的配慮【教科書 第V部】					
15. 小括(2):演習課題の振り返り、学期末試験について					
16. 学期末試験					
※ 演習課題のスケジュール等は受講者数やご相談により調整します。					
教科書					
よくわかる障害学／小川喜道、杉野昭博編著:9784623067947, 2014, ISBN:9784623067947, 2400 円＋税					
参考書					
障害者はどう生きてきたか：戦前・戦後障害者運動史／杉本章著:9784768434871, 2008, ISBN:9784768434871					
障害者ってだれのこと?:「わからない」からはじめよう／荒井裕樹著:9784582839036, 2022, ISBN:9784582839036, https://kinoden.kinokuniya.co.jp/tokushima-u/bookdetail/p/KP00072118/					
「社会」を扱う新たなモード:「障害の社会モデル」の使い方／飯野由里子, 星加良司, 西倉実季著:9784865001426, 2022, ISBN:9784865001426					
障害から始まるイノベーション: ニーズをシーズにとらえ直す障害学入門／田中真理, 横田晋務編著:9784762832239, 2023, ISBN:9784762832239, https://kinoden.kinokuniya.co.jp/tokushima-u/bookdetail/p/KP00080328/					

教科書・参考書に関する補足情報	
参考書は適宜紹介します。	
成績評価方法・基準	
成績評価は小テスト(25%)、演習課題(25%)、学期末試験(50%)をもとにおこないます。 ※ 教養教育履修の手引より:授業時間数の3分の2以上出席していなければ、学期末試験の受験資格を失います。	
再試験の有無	
無	
受講者へのメッセージ	
授業の中で取り上げるテーマについて、新聞・インターネットニュース等でも積極的に情報収集することを心掛けてください。	
自学自習(予習・復習)のアドバイス	
予習:教科書の該当部分を読んでください。 復習:教科書内のコラムや授業内で紹介する参考文献等を活用して理解を深めてください。	
準備学修に必要な時間の目安等	
大学の講義は、1単位を修得するにあたり、教員が行う授業時間に加え、学生が予習や復習などの授業時間外に学修する時間と合わせて45時間の学修を必要とします。	
WEB ページ	
連絡先(Eメールアドレス、オフィスアワー)	(学生用連絡先) 総合科学部1号館南棟1階S22 (メールアドレス) k-wtnb@tokushima-u.ac.jp (オフィスアワー) 水曜日 PM.2:30-PM.3:30 総合科学部1号館南棟1階S22
備考	小テストと演習課題には徳島大学LMSを活用する予定です。